



爽籟軒庭園茶室「明喜庵」

# 尾道の古建築は日本一

尾道には、日本に誇れるものがたくさんあるよ。

尾道には、「日本一」がいっぱい!!

どんなものがあるの？

こんなにたくさん!!

不思議いっぱい尾道。

私たちの港町・尾道を

もっともつと知ってみよう!!

都のあった京都・奈良、そして滋賀・大阪など近畿地方に  
国宝・重要文化財の古建築は集中しているんだよ。  
その他に、国宝・重要文化財がたくさんあるのは、  
広島県なんだ。  
それはね、尾道と宮島があるからなんだ。



浄土寺 多宝塔



常称寺 本堂



尾道ユネスコ協会

時代	尾道のできごと	日本のできごと
平安	浄土寺多宝塔 (1328年) P.4	遣唐使の廃止 (894年) 源頼朝・鎌倉幕府を開く (1192年)
鎌倉	浄土寺阿彌陀堂 (1345年) P.5	鎌倉幕府滅亡 (1333年) 足利尊氏・征夷大将軍となる (1338年)
室町	西郷寺本堂 (1353年) P.11	金閣寺建立 (1397年)
中世	天寧寺塔婆 (1388年) P.9	足利義政・8代将軍となる (1449年)
	常称寺本堂 (室町時代中期) P.12	室町幕府滅亡 (1573年)
	西國寺三重塔 (1429年) P.7	本能寺の変 (1582年)
安土桃山	向上寺三重塔 (1432年) P.8	豊臣秀吉・全国統一 (1590年)
	吉原家住宅 土屋・長屋門 (1635年) P.18	徳川家康・江戸幕府を開く (1603年)
	西國寺や浄土寺に諸堂が建立される P.6	
江戸	浄土寺露滴庵 (18世紀前期) P.14	西回り航路が開く (1672年)
近世	尾道港に北前船が寄港するようになる	
	爽籟軒庭園茶室明喜庵 (1850年) P.13	明治維新 (1868年)
明治	大浜埼灯台と旧大浜埼通航潮流信号所 (1894年) P.17	日露戦争 (1904年)
昭和	木造3階建て (明治・大正・昭和初期) P.15	第2次世界大戦 (1939年)
現代		バブル崩壊 (1990年頃) 東日本大震災 (2011年)

尾道の港が嘉応元年(一一六九)に開かれてから、良い地形に恵まれた事もあって、大田荘という「荘園」の「倉敷地」として、とつても栄えたんだよ。「**荘園**」っていうのはね、「朝廷や貴族、京都奈良の有力社寺などが所有した領地」で、「**倉敷地**」っていうのは「倉がたくさんあるところ」という意味なんだ。尾道は、「大田荘」という**荘園で収穫されたものを、尾道港から運び出すために、保管していた倉がたくさんあった**ということと、それだけ尾道には経済力があつたことになるんだよ。

尾道にあるものが日本一ということは、  
・・・もしがして世界一?!

尾道の歴史や文化などを発信しています  
尾道ユネスコ協会発行の冊子  
ご案内

『尾道の古建築は日本一』

『しまなみSevenBridges  
「7つの橋の物語り」』

『めりえ尾道名所彩々図鑑vol.1』

『めりえ尾道名所彩々図鑑vol.2  
「尾道港開港850年と北前船」』



- 日本一 1 日本の中世密教本堂の代表例  
国史「養士帯 本堂」
- 日本一 2 鎌倉時代に建てられた  
国史「養士帯 多宝塔」
- 日本一 3 南北朝時代に建てられた  
重要文化財「養士帯 阿弥陀堂」
- 日本一 4 江戸時代に建てられた  
養士帯・国史「只瓜黄土の観音」
- 日本一 5 江戸時代に建てられた  
国史「区斗帯 三層塔」
- 日本一 6 江戸時代に建てられた  
国史「区斗帯 三層塔」
- 日本一 7 江戸時代に建てられた  
国史「区斗帯 三層塔」
- 日本一 8 江戸時代に建てられた  
重要文化財「西郷帯 本堂」
- 日本一 9 現存する中世の時宗本堂では  
重要文化財「常称寺 本堂」
- 日本一 10 京都とともに現存する茶室数が  
日本一多い都市
- 日本一 11 織部の傑作の燕庵写しつとは  
重要文化財「浄土寺 露滴庵」
- 日本一 12 木造の階梯の建造物が  
日本最長の町
- 日本一 13 江戸時代に建てられた  
重要文化財「浄土寺 露滴庵」
- 日本一 14 江戸時代に建てられた  
重要文化財「浄土寺 露滴庵」
- 日本一 15 江戸時代に建てられた  
重要文化財「浄土寺 露滴庵」



みうら まさゆき  
三浦 正幸 先生

けんちくがくしゅ こけんちく  
建築学者・日本の古建築の専門家で、  
特にお城の研究については日本一！  
ひろしまだいがくめいよきょうじゅ おのみちしぶんかざい  
広島大学名誉教授、尾道市文化財  
ほごいしん  
保護委員でもあるため、尾道の建物の  
素晴らしさをたくさん教えて頂ける  
から、三浦先生の講演会にはファンが  
いっぱいいるよ。

本パンフレットは三浦正幸先生のシンポジウム「心ゆたかな尾道」（平成24年11月11日 しまなみ交流館ホールにて）での報告を参考に制作されました。



# 1

## 国宝 浄土寺本堂 日本の中世密教本堂の代表例

嘉暦2年(1327) 再建 いまから約700年前



密教本堂の代表例は、尾道 浄土寺本堂なんだよ!

### 建築の特徴

日本に残る、中世(鎌倉時代から室町時代)の建物の多くは仏教建築。その半分が密教(真言宗・天台宗)の本堂なんだ。浄土寺本堂は、日本の密教本堂で最も建築意匠が華やかな3例のひとつなんだよ。

### ごちゃまぜ様式

平安時代以来の格調高い「和様」をもとに鎌倉時代に中国から伝来した新しい意匠を思う存分にごちゃまぜにしてつくった「折衷様」なんだよ。

### ◆ 日本三大密教本堂はココ!

- |                    |               |
|--------------------|---------------|
| 兵庫県 加古川市<br>天台宗    | かくりん じ<br>鶴林寺 |
| 愛媛県 松山市<br>真言宗智山派  | たいさん じ<br>太山寺 |
| 広島県 尾道市<br>真言宗泉涌寺派 | じょうど じ<br>浄土寺 |

### ■ おのみちポイント

奈良東大寺の大工の棟梁が尾道に在住し造ったオリジナル建築なんだ。都から遠く離れた尾道だったから、この最先端技術の建物に挑戦できたんだよね。



たばさみ  
手挟

ここ見る  
ポイント

### 日本最先端の技術

正面の階段の上の垂木は、よく見るとわずかに上下に波をうつ「なまず垂木」。正面の2本柱の上から出る飾りの「手挟」。

# 2

## 国宝 浄土寺多宝塔

鎌倉時代に建てられた 現存する日本で最大の多宝塔

嘉暦3年(1328)再建 いまから約700年前



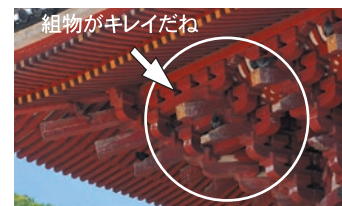
### 建築の特徴

一重目が正方形、二重目が円形の二重塔を多宝塔というんだよ。塔の本体が円形なのに正方形の屋根を支えるため、重い瓦が使えず、軽い檜皮の屋根の多宝塔が多いんだ。浄土寺の多宝塔は中世で日本最大、しかも現存最古の瓦葺き多宝塔なんだ。墓股や組物などの細部の造りの良さも日本一。鎌倉建築の代表例なんだよ。



じゃき  
邪鬼

屋根の四方の隅をささえる「邪鬼」がいるよ



組物がキレイだね

### カッコイイ多宝塔

この多宝塔は、中世の多宝塔としては、最大で、組物がほかより1段多く積まれているんだ。日本三名塔(多宝塔)の一つに選ばれているよ。

### ◆ 日本三名塔(多宝塔)はココ!

- |                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| 滋賀県 大津市<br>東寺真言宗   | いしやまでら<br>石山寺       |
| 和歌山県 高野町<br>高野山真言宗 | こんごうさんまいいん<br>金剛三昧院 |
| 広島県 尾道市<br>真言宗泉涌寺派 | じょうど じ<br>浄土寺       |

ここ見る  
ポイント

かえるまた  
墓股

柱と柱を支える役目なんだ。花や蝶の彫刻でとてもキレイだよ。ココの入り込みが小さいのが14世紀の特徴なんだよ。



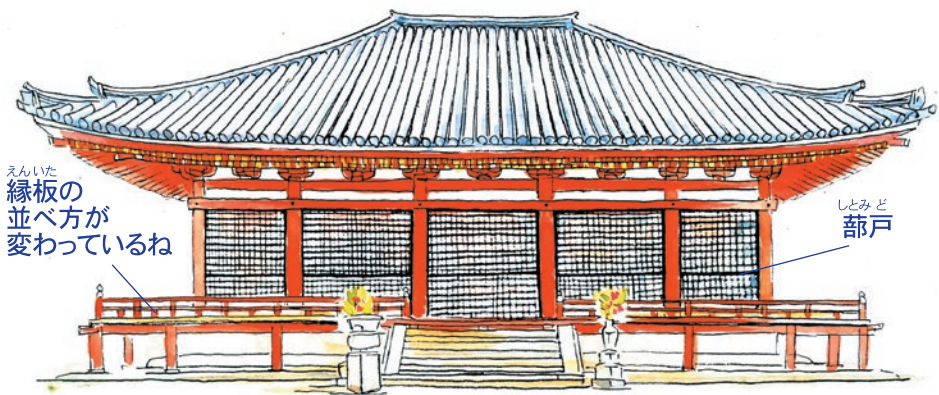


# 3

重要文化財 浄土寺阿弥陀堂

## 南北朝時代に建てられた日本一格式の高い阿弥陀堂

貞和元年(1345)再建 いまから約680年前



えんいた  
縁板の  
並べ方が  
変わっているね

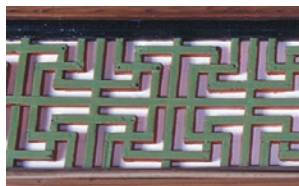
しとみど  
蔀戸

### 建築の特徴

本堂(観音堂)の屋根は格式の高い入母屋造り。阿弥陀堂は寄棟造りで、本堂より格式を下げているんだよ。組物も本堂より質素。建具も昔の住宅に使われた蔀で、縁板も仏堂の張り方とは逆の住宅風。住宅風の造りは、「多くの人々が気安く阿弥陀さまを拝みに来てくれるように」という意味があるんだ。

### まんじくずしのらんま 七崩の欄間

迷路のようなこの模様、おもしろい形だね。見る角度と光の具合でいろんな模様に見えるよ。現代の町で見かける広告塔にも使われている新発明だよ。



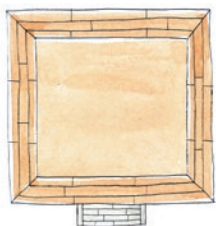
### 蔀戸

格子を組んだ上下2枚の戸で出来ているよ。平安時代の寝殿造りに使われたもので、部屋の中に光や風を取り入れるのに便利なんだね。



### 縁板の並べ方

縁板の並べ方が、浄土寺本堂と見比べると、縦横が逆なんだ。日本の仏堂ではあまり例のない並べ方なんだよ。

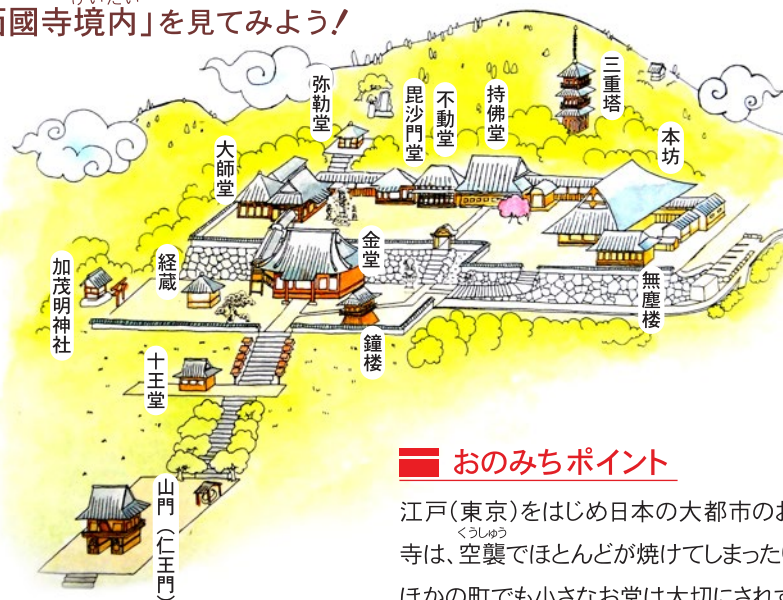


浄土寺 阿弥陀堂  
縁板

# 4

## 浄土寺・西國寺の江戸時代の諸堂 江戸時代に栄えた大きな町にある 大きなお寺の姿を一番遺している寺院

「西國寺境内」を見てみよう!



### おのみちポイント

江戸(東京)をはじめ日本の大都市のお寺は、空襲でほとんどが焼けてしまったりほかの町でも小さなお堂は大切にされず壊されてしまったんだ。江戸時代の姿を今もよくのこしている尾道。神様や仏様を大切に守って、現代にのこしたんだね。

### 建築の特徴

江戸時代、大都市にあった大きなお寺の姿が今でも遺されているお寺だよ。赤く塗られた大きなお堂の他にも、境内には色が塗られていない「文殊堂」「不動堂」「薬師堂」「十王堂」...という名前で、仏様ごとにひとつのお堂が建てられたからお堂がたくさんあるんだね。

### お堂が沢山あるのは、何をするため?

なぜこんなに沢山のお堂が建てられたかというと、江戸時代の人々は、ひとつひとつのお堂を回りながら「病気が治りますように」とか「頭がよくなりますように」などと、仏様ごとに違う願い事をしてきたからなんだ。



ここ見るポイント

西國寺 弥陀堂

### みるくどう 弥陀堂

かめばら かえるまた かんそ  
亀腹や蟻股のつくりが目をひくね。簡素ながら格調高い江戸時代初期の建物だよ。

# 5

重要文化財 西國寺三重塔 さいこくじさんじゅうのとう

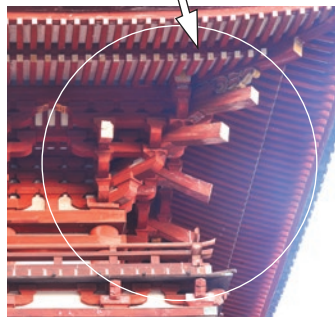
## 室町時代に建てられた 日本一格式の高い三重塔 かくしき

永享元年(1429)建立 いまから約600年前 えいきょう

### おのみちポイント

この三重塔はね、これを建てた時代よりも400~500年前(平安時代)の和様の造り方で、わざと古い時代の建物を再現して造ったんだ。なぜそんなことをしたかという「古い造り方」とは「格式が高い」という考え方が日本にあって、お寺の格式の高さを表わすためだったんだ。尾道の人は、新しいものばかりを造ってきたのではなく、古い時代の伝統を守ることも大切にしてきたんだね。

100%といってもいいくらい伝統的な「和様」の組み方だよ。



ここ見るポイント

### 尾道にある塔を見くらべてみよう!

尾道の人は新しく最先端のもの(例えば、天寧寺の塔婆)や、格式高く古いもの(例えば、西國寺の三重塔)をどちらもうまく取り入れて来たんだね。



石の基壇は平安時代中期以前の建物に多いんだよ。

### 古めかしい(古い)形とは・・・?

例えば、石の基壇の上にそのまま建っていて、周囲に縁がないことだよ。

# 6

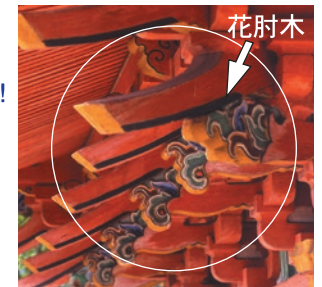
国宝 向上寺三重塔 こうじょうじさんじゅうのとう

## 室町時代に建てられた 日本一華麗な塔 か れい

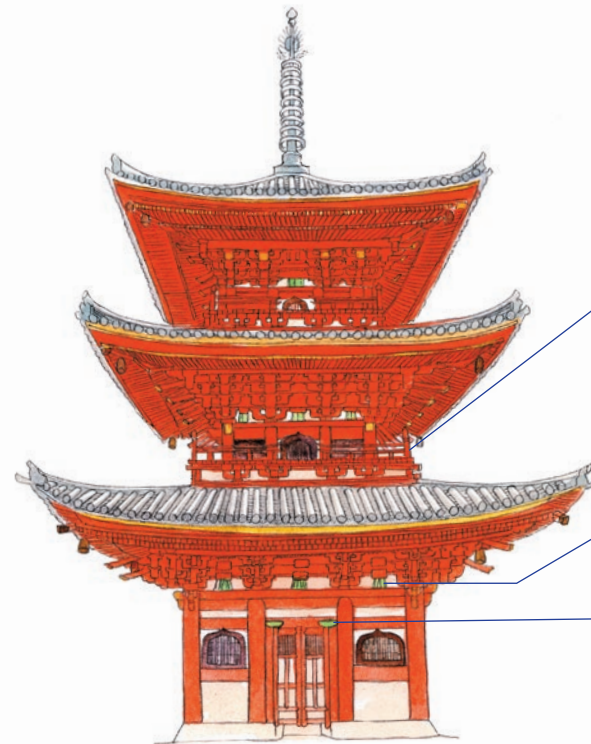
永享4年(1432)建立 いまから約600年前 えいきょう

### 最先端! 300年も早い建て方!

とても華やかな色の「花肘木」をココに使ったのは全国初!  
「花肘木」「藁座」「蓑束」・・・ 徹底的に花や葉だらけ!



花肘木



蓮の花の「逆蓮柱」

蓮の花の「蓑束」

蓮の葉の「藁座」

ここ見るポイント

### 日本で一番華麗

鎌倉時代末期に中国・元から新しく伝来したからよう唐様(禅宗様ともいう)が使われているよ。唐様は華麗で高級だけど、新しい様式だったので、伝統が重視された塔には珍しいんだよ。しかも彫刻がたくさん使っているんだ。扉の上を留める藁座は蓮の葉、組物の下にも花肘木という彫刻がありもちろん日本で唯一のものだよ。

### 最新の文化は海をわたって来たんだ!

尾道と瀬戸田は、広い瀬戸内海から見るととても近いんだよ。日本は中国と盛んに貿易をしたんだ。都に向かって最新の文化を運んだ瀬戸内海航路の重要さがわかるね。



日本で現存最古の唐様の五重塔(現在は三重塔)

嘉慶2年(1388)建立 いまから約640年前



ここ見るポイント

えっ！五重塔だったの!?

建築の特徴

元は五重塔だったけど、江戸時代に三重塔に改造されたんだ。だから五重塔でも三重塔でもないで、塔の正式名称で「塔婆」と呼んでいるんだ。この塔は五重塔に唐様を使った現存最古の例なんだ。それどころか唐様の五重塔は明治時代になるまで、広島県外にはないんだよ。葺束の飾りは向上寺三重塔の先例なんだ。

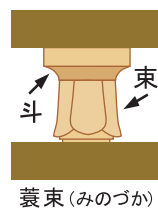


このカーブしたところも唐様の特徴だよ。

重要な飾りになっているよ!

おのみちポイント

14世紀はじめ、先進国・中国の元の建て方「唐様」という最新鋭の技術が伝来し、それを五重塔に使った、日本で現存最古の例なんだ。唐様は向上寺三重塔と厳島神社五重塔にも使われたんだよ。



組物の間に入れられる飾りには葺束と臺股があるんだよ。蓮の花びらの形の葺束は瀬戸内の中世の古建築の特色だよ。

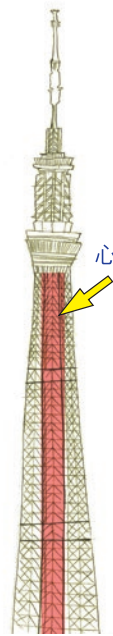
ぶんかざい文化財トピックス

こんなところが一緒なんだよ。

東京スカイツリーと五重塔

高い建築物になるほど、地震や風の影響を受けやすくなって、つくりが重要になってくるんだけど、現在の建築技術の最先端と言われる「東京スカイツリー」と、日本の伝統的な塔である「法隆寺五重塔」には不思議な共通点があるんだ。

心柱制振構造

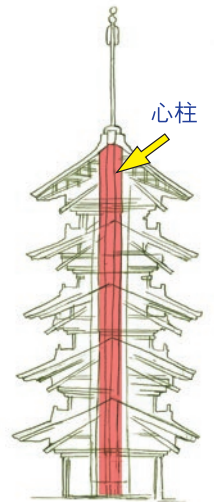


心柱

塔の中心にある「心柱」は、塔の地下に納められたお釈迦さまの骨と、塔の屋上にあるストーパー形の相輪をつなぐ神聖な柱。だから、塔のほかの部分と固定されていないので、心柱と他の部分の揺れがお互いの反対方向に揺れる事で、全体の揺れがおさえられる仕組みになっているんだよ。もちろん偶然の結果だけど。

「東京スカイツリー」平成24年(2012)に電波塔・観光施設として開業したよ。

「法隆寺五重塔」いまから約1300年前に建てられたよ。



心柱

尾道文化財コラム

旧三井住友銀行尾道支店

戦前期の銀行では、営業室の天井高が日本一だよ。当時の銀行は通常2階分の高さだけど、3階分ある建物なんだ。現在は改修されて、文化交流施設「まちなか文化交流館(Bank)」として令和5年5月にオープンしたよ。

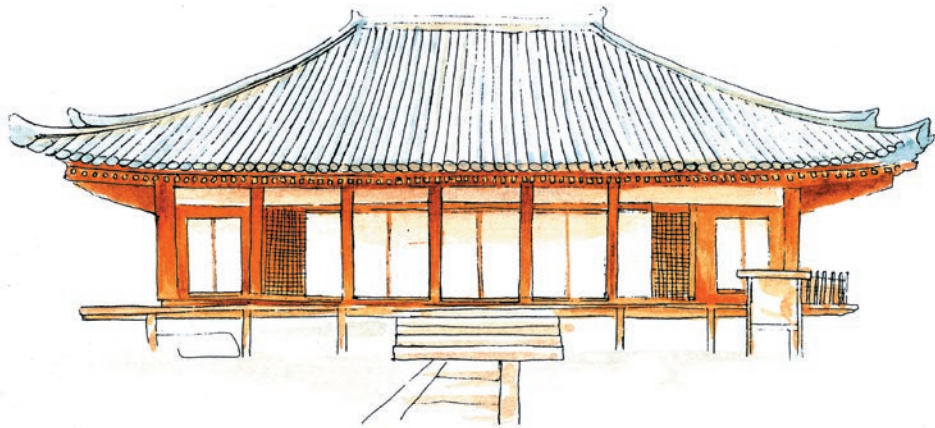


# 8

重要文化財 西郷寺本堂  
さいごう じほんどう  
げんぞん じしゅうほんどう

## 現存する時宗本堂では日本一古い建物

たてもの  
ぶんな  
文和2年(1353)ごろ いまから約670年前



### 建築の特徴

じしゅう かまくらぶつきょう みつきょう  
時宗は新しく開かれた鎌倉仏教のひとつ。浄土寺や西國寺のような密教の大寺院の本堂は、正式な円柱を使い、柱の上には複雑な組物をのせた重厚な造りだけど、鎌倉仏教の寺には密教本堂のような正式な本堂は許されず、格式が下の寄棟造りの屋根、住宅風に略式の角柱なんだよ。  
した  
親しみやすいお堂なんだ。

### ◆尾道に時宗が多いワケ

昔、「時宗」は多くの人が集まる大都市だけに広まったんだ。尾道の旧市街地に、時宗のお寺が6つも集まっているということは、600年前の尾道は日本の中でも大都市だったという証拠になるんだ。



ここ見るポイント



### ため 試してみよう! 「鳴龍天井」

ほんだう げじん てんじょう たた  
本堂外陣の天井に向かって手を叩くと、「ピーン、ピーン」と龍が鳴くような音が聞こえてくるよ。

### ■ おのみちポイント

本堂の屋根の形がこんなところにも。

おのみちしりつ びじゅつかん  
尾道市立美術館の本館は、西郷寺の姿をまねて作ったんだよ。  
はっそう  
さすが「寺のまち 尾道」の発想だね。

# 9

重要文化財 常称寺本堂  
じょうしょうじ ほんどう  
ちゅうせい

## 現存する中世の時宗本堂では日本一立派な建物

室町時代中期  
いまから約600年前



りゅうずがから 龍頭瓦

### 建築の特徴

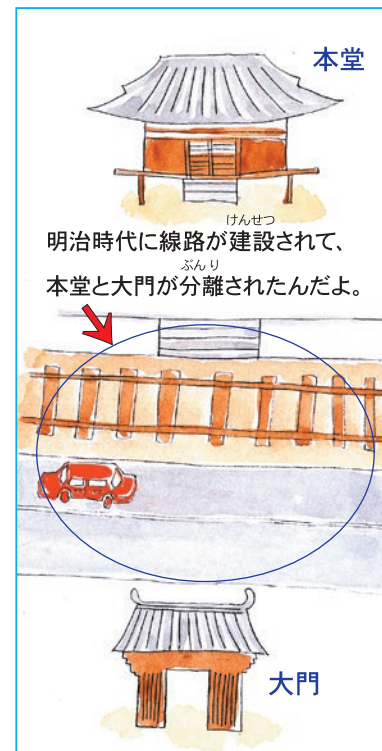
そうけん  
創建は鎌倉時代後期。お堂は火事で何回も建て直されたよ。今の本堂は、室町時代中期に建て直されたもので、この時代の時宗本堂では日本で一番立派なものなんだ。外観は時宗本堂らしい簡素なつくりだけど、内部は密教本堂のような立派なつくりなんだ。

### ひろ〜い境内

今は、本堂と古く立派な大門(室町時代前期)は国道と線路で分けられているけど、もともとはひとつのものすごく広い境内のお寺だったんだよ。

### ここ見るポイント 本堂の龍頭瓦

おもしろい顔の龍頭瓦は、オスとメスの龍だと言われてるよ。



本堂

けんせつ  
明治時代に線路が建設されて、本堂と大門が分離されたんだよ。

大門



## 京都とともに 現存する茶室数が日本一多い都市



### 江戸時代末期の茶室の代表「茶室・明喜庵」

江戸時代に生きた尾道の豪商の一人、橋本竹下の別宅・爽籟軒庭園の茶室「明喜庵」。このお茶室は、京都郊外にある千利休が考えた妙喜庵待庵の「写し」なんだ。昔は、立派なお茶室の「写し」をつくることは選ばれた人たちだけだったんだよ。尾道にこんなにお茶室があるのは、文化が栄えている証なんだ。

#### ◆ お茶の町、尾道。

商人の町として発展した尾道の豪商たちは、商売だけでなく、文化や学問をとでも大切にしたんだ。都の有名な学者や文化にくわしい人たちがたくさん尾道に来て、文化的な交流をさかんにしていたとか。その中で尾道のお茶文化は発展し、江戸時代以降、昭和の戦前までに建てられたお茶室がたくさんあるんだ。だから尾道はお茶の町ともいわれているんだね。

ここ見るポイント

### 「写し」って、な～に？

茶道を大成した千利休が建てた妙喜庵の待庵や、利休の弟子で茶道美術で高名な古田織部が造った燕庵は、全国で最も有名な茶室。有名な茶室を欲しがる茶人は、詳しく絵図に写し取って、まったく同じ茶室を造ったんだ。それを「写し」といい建築のコピーなんだよ。尾道では、わざと少し変えた「写し」の茶室が多いんだよ。

お茶の文化  
日本一！



## 重要文化財 浄土寺 露滴庵 織部の傑作の燕庵写しとしては 日本一古い(現存最古)茶室

18世紀前期に建築 いまから約300年前



### 建築の特徴

「写し」とは、有名な茶室をそのままコピーして造ることなんだ。燕庵は利休の高弟で大名の古田織部が建てた名席。露滴庵は燕庵の写しで現存最古。「写し」とは、いっても、もとの燕庵を改良してあり、尾道の茶道文化の高さを示しているんだ。

燕庵写しを表す「燕」の文字を見ることが出来るよ。

#### ■ おのみちポイント

### 露滴庵は向島にあった！

尾道の向島の豪商・富島家(天満屋)の別荘に18世紀前期に建てられたといわれているよ。文化11年(1814)に、浄土寺に移され、露地(茶室の庭)もその時代に作られたんだ。



名勝 浄土寺庭園

### 「市中の山居」とはね

お茶室は、「人里離れた山中にある庵」にみたてられていて、お茶の達人・千利休が「市中の山居」と表現したんだ。大都會の中にわざと人里はなれた空間をつくって「わび・さび」を感じていたんだよ。



# 12 木造3階建て建造物が日本最多の町



うおのぶ  
料亭旅館「魚信」

※船に乗って海側から見る事が出来るよ

## 建築の特徴

昭和30年(1955)から長らくの間、木造3階建ての新築が禁止されたので、尾道に残っている木造3階建ては、明治～戦前くらいのもとても古い建物なんだ。木造3階建てはハッキリ数えられないほど多くて、100軒は越えるといわれているよ。これは他の町の何十倍もの数で日本一！アーケードに隠れていたり、路地裏にも並んでいたり、古い店舗や旅館などがあるんだよ。



## 尾道を歩いてみよう！

あちこちに3階建てがたくさんあるよ。君は何軒見つけられるかな？ヒントは“路地”と“山手”だよ！！

## ■ おのみちポイント

千光寺山とか高いところから見ると、尾道の町には屋根がびっしりならんでいるの見えるね。これは戦争や自然災害で被害をうけていない尾道ならではの景色なんだよ。

尾道は洋館もたくさんあって、日本でもめずらしいんだよ。神戸や函館にあるような洋館がたくさんある町なんだ。

# 13 道蓮・道性 日本で最古の民主主義であり 男女平等の表れ



国宝の寺 浄土寺

## おのみち しょうにん 尾道の商人パワー

鎌倉時代の終わり頃、尾道の港には大船を所有する海運業や大きな財力を持った大商人たちが活躍していたよ。「寺のまち 尾道」と言われるほど、町のあちこちに今でも残るお寺を大商人たちが建てたんだ。浄土寺が火事で燃えてしまった後、お寺の建物を再建したのも、尾道の問丸という仕事をしてた商人で、20才前の若い夫婦、「道蓮・道性」だったんだよ。こんなに立派な建物を造れるのは、ほかの町では、当時では将軍・守護や貴族など、政治権力を持った人たちだけだったんだ。尾道の商人の経済力や、仏さまを信じる心は、とっても大きな力を持っていたということがわかるんだよ。しかも夫婦そろって名前が残っているのは、ここ尾道だけなんだ。日本で一番古い「民主主義」で「男女平等」の表れだね。

## 「問丸」とはね。

今でいう「問屋さん」のことで、AさんからBさんへ、安全に品物を受け渡すための役割をしていたんだよ。





広島県重要文化財

大浜埼灯台と旧大浜埼通航潮流信号所

灯台と通航潮流信号所のセットが残るのは  
全国で大浜埼灯台だけ

明治27年(1894) いまから130年前



## 建築の特徴

大浜埼灯台は、因島と向島の間の布川瀬戸を臨む因島大浜町に明治27年(1894)に設置された円形石造の灯台だよ。他に明治43年(1910)に3つの信号塔をもつ信号所や腕木式信号機、通信用信号柱、検潮所などが整備され、このセットが残っているのは全国でここだけなんだよ。



重要文化財 吉原家住宅主屋

登録有形文化財 吉原家住宅長屋門

## 年代が分かる日本最古の農家建築

寛永12年(1635) いまから約400年前

## 建築の特徴

吉原家住宅は、向島町にある江戸時代に建てられた農家だよ。主屋と納屋、長屋門などが広い敷地に配置されているよ。主屋は、吉原家に伝わる記録に寛永12年再建と記録されていて、建てられた年代が分かっている農家では日本最古だよ。桁行10間、梁間5間の巨大な農家で、割庄屋としての風格があるよ。竿縁天井を多く使っていて、部屋を囲むように縁をめぐらせるなど、格式の高さを示すよ。

尾道文化財  
コラム

尾道市重要文化財

旧河内村役場(御調歴史民俗資料館)

旧河内村役場は、明治時代に建てられて、昭和30年(1955)まで役場として使用されていたよ。木造2階建て、平入で、当初は1階が事務室、2階が議場として使われていたんだ。昭和54年に御調歴史民俗資料館として改装されて現在に至るよ。尾道市内に残る最古の役場建物だよ。

